

新ましこ未来計画推進状況総括シート

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」人の割合	本年度目標値	前年度増	現状値	87.1%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	58%	現状値	50.5%
基本目標における当該期の実施内容・成果の総括		次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
第1	基本目標に向けての成果指標1「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合は、直近のH27年度は86.5%であり、予想を超える肯定的評価である。本年度目標値は87%である。 今期の本分野における取組状況は、次のとおりである。 【強い心をもつ人材の育成】については、小中学校宿泊訓練事業、QU事業、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を予定どおり実施することができた。各学校からの実施状況の報告を受けて、今期中に各事業の成果と課題を整理したい。 【学びを通して社会に貢献できる人材の育成】については、町独自学力調査事業、マインズ推進事業については終了し、その結果の分析、成果と課題等についてまとめているところである。また、ALT活用事業、外国語活動小中連携事業、英検検定補助事業、中学生海外派遣事業も予定どおり実施されている。育脳プログラム作成事業については、第1回作成委員会、育脳プログラム特別講演会を実施し、育脳への理解と関心を深めた。子育て支援事業では、各種乳幼児検診を通して早寝・早起き・朝ごはんを普及させ、子育て教室や食育教室も計画的に開催されている。 【たくましく生きるための人材育成】については、こころのプロジェクト夢教室事業、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施し、今期中の成果と課題をまとめているところである。また、指導者育成教室については説明が終わり、体力向上についてはプログラム作成委員会を立ち上げ、各学校の課題の分析を始めた。 基本目標に向けての成果指標2「地域・社会活動をする人」の割合は、直近のH26年度は56.4%である。今期の本分野における取組状況は、【人材が育つ環境づくり】の視点では、まず、ましこ町民大学開設検討委員会を立ち上げ、開設目的や期間、定員、今後のスケジュール等を決定した。次に、ましこ検定の実施に向けて、第1回実行委員会の開催を目指し、組織、要綱等について検討した。また、遊びの達人講座については、講座開催スケジュールを決定した。		【強い心】の視点では、中学校文化部活動外部指導者派遣事業については、現在3文化部で外部指導者不在の状況が続いており、外部指導者活用のあり方について検討する。また、QU事業については、8月12日にQU活用研修会を開催し、結果の分析や活用のあり方について研修する。「豊かな心育成のまち宣言」の策定については、設立委員会を立ち上げ、準備に入る。H27年度1年間の皆勤率は43.7%であり、基準値(昨年度)より落ち込んだため、今年度1学期の皆勤率を踏まえ、対策を講じる。 【学び】の視点では、町独自学力調査事業については、その結果の分析を踏まえ、8月9日に学力向上推進委員会を開催し、学力向上改善プランを作成する。英検検定については、昨年度第1回目の3級以上の受験者は12名であったが、今年度は47名で約4倍であった。検定補助について更に周知を図っていく。ダブルとの相互国際交流事業については、8月6日～11日まで副町長・教育長がダブルを訪問し、今後の方向性について打合せを行う。育脳プログラムについては、第2回作成委員会を開催し、育脳プログラムの原案を作成する。全国学力テストについては、その結果が8月下旬に届くので、ただちに分析に入る。 【たくましさ】の視点では、指導者育成教室の開催については、積極的な支援やスポーツ教室の講師の選定に入る。また、中学校運動部活動外部指導者派遣事業については、現在8運動部で外部指導者不在の状況が続いており、外部指導者のあり方について検討する。マシコット体操については、近隣のゆずも体操から学び、マシコット体操の考案に向けて準備に入る。 【環境づくり】の視点では、ましこ町民大学の準備については、設置検討委員会において、カリキュラムの方向性や具体的な内容を協議する。ましこ検定については、第1回実行委員会を開催し、検定問題や検定教材について協議する。また、遊びの達人講座を開催する。		
	基本目標3【人財育成】				

新ましこ未来計画推進状況総括シート

基本目標		社会的に自立した人を育てる			
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」人の割合	本年度目標値	前年度増	現状値	87.1%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	58%	現状値	50.5%
基本目標における当該期の実施内容・成果の総括		次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
第2	今期の本分野における取組状況は、次のとおりである。 【強い心をもつ人財の育成】の視点では、小中学校宿泊訓練事業、Q U事業の成果と課題をまとめた。特に、Q U事業では、小学5年生～中学3年生まで学校生活満足群が全国平均を大きく上回り、良好であった。「豊かな心のまち宣言」策定については、策定に関する調査及び策定委員会設置要綱作成の準備を進めた。学校司書配置事業については、学校図書館研修会への参加や各小中学校への学校図書館アンケートを実施し、司書配置に向け検討を始めた。小・中学生の1学期の皆勤率は、小学生73.7%、中学生76.9%である。2学期以降の対応について検討を行った。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】の視点では、町独自学力調査については結果の分析を行い、小中学校ごとに学力向上改善プランを作成した。調査結果は小学3年・中学1年ともに全国と同等の学力であった。全国学力テストについては、小学6年では全国平均を下回ったが、中学3年では全てにおいて全国平均を上回り、全国4位の学力であった。英語検定事業については、今年度第1回検定で3級以上の受験者は47名、合格者は15名、合格率は31.9%であった。 【たくましく生きるための人財育成】の視点では、こころのプロジェクト夢教室については田野小・益子西小・益子小で実施し、その成果をまとめた。小中学校の体力づくりについては、第2回・第3回の体力向上プログラム作成委員会を開催し、具体的な内容について検討した。今年度の新体力テストのA級以上の取得者の割合は12.0%であった。指導者育成教室については、各種目ごとに検討が行われ、開催の準備が始まった。ましこチャレンジクラブについては、月に一度の運営委員会、総務事業部会を開催し、事業の検討を行っている。9月末の加入者は590人で、昨年同期より38人多い。 【人財が育つ環境づくり】の視点では、ましこ町民大学開設検討委員会を開催し、カリキュラムを作成した。ましこ検定については、ましこ検定・世間遺産実行委員会設置要綱を作成し、準備を始めた。遊びの達人講座については、ましこトライやるスクールの活動の一環として開催し、遊びの達人による指導を受けた。		【強い心】の視点では、中学校部活動外部指導者派遣事業については、その必要性について再確認し、引き続き検討する。現在3文化部で、外部指導者が未配置である。文化芸術鑑賞教室については、各小中学校に対し、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」や「文化芸術による育成事業(芸術家の派遣事業)」への応募を働きかける。子育て支援事業については、早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のため、乳幼児検診等でLIFEの紹介や情報提供を積極的に行う。 【学び】の視点では、全国・県・町の学力テストの結果分析を踏まえ作成した学力向上改善プランを基に、学力向上アドバイザーと共に学校を訪問し指導・助言に当たる。英語検定事業については、第2回検定の受験者は3級26名、準2級10名、2級1名である。予想以上の受験者であり、受験を更に働きかける。育脳プログラム作成事業については、第2回作成委員会を11月18日に行う。講師によるワークショップを行い、プログラム内容についての理解を深める。中学生海外派遣事業については、事前研修を計画的に行っている。壮行会を10月27日に行い、最終準備に取り掛かる。 【たくましさ】の視点では、中学校運動部活動外部指導者派遣事業については、その必要性を再確認し、引き続き検討する。現在8運動部で、外部指導者が未配置である。少年スポーツ教室については、野球・剣道以外は指導者が決まっていない。メダリストの指導を受けられるよう、指導者の調整を図る。ましこチャレンジクラブについては、参加人数を更に増やすためにPR活動を進め、認知度を高めていく。マスコット体操については、スポーツ推進委員や健康体操の指導者等から助言をいただき検討していく。 【環境づくり】の視点では、第4回ましこ町民大学検討委員会を開催し、カリキュラム構成や学生募集等について検討する。ましこ検定については、第1回実行委員会を開催し、検定問題の難易度や合格ライン等について検討する。遊びの達人による講座については、ましこトライやるスクールの活動内容を見直し、遊びの内容を取り入れた活動を工夫改善する。		

新ましこ未来計画推進状況総括シート

基本目標	社会的に自立した人を育てる					
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」人の割合	本年度目標値	前年度増	現状値	87.1%	
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	58%	現状値	50.5%	
基本目標における当該期の実施内容・成果の総括		次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)				
第3	【強い心をもつ人財の育成】については、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」を実施するとともに、学校司書配置事業の準備を進めた。巡回公演事業については、11月15日に田野中学校において狂言の公演が行われ、生徒たちにとって日本の伝統文化に触れるよい機会となった。学校司書配置事業については、「学校図書館に関するアンケート」の結果、学校司書について7校全てで「配置を希望する」という回答を得た。小中学生の2学期の皆勤率は小学生51.2%、中学生57.3%であり、皆勤率は大幅に低下した。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、外国語活動小中連携事業、中学生海外派遣事業、英検検定料補助金交付事業、育脳プログラム作成事業を行った。外国語活動小中連携事業については、11月1日に七井小学校で研究授業・授業研究会を実施し授業力の向上を図った。中学生海外派遣事業については、11月3日～11月11日までイギリスのセントラル等に派遣し、様々な体験を通し異文化理解の重要性を学んだ。英検検定料補助金交付事業については、第2回検定の3級以上受験者は38名、合格者は11名、合格率は28.9%であった。育脳プログラム作成事業については、11月18日にプログラム作成委員会を開催し、育脳イラストレーター中島みちる氏の講話と育脳プログラム案の検討を行った。 【たくましく生きるための人財の育成】については、こころのプロジェクト外夢教室を11月7日に七井小で実施し、その成果をまとめた。小中学校の体力づくりについては、第4回・第5回体力向上プログラム作成委員会を開催し、プログラム案をまとめた。少年スポーツ教室については、野球・剣道・サッカー教室を開催し、参加者の高い満足度を得た。ましこチャレンジクラブについては、12月3日にスポーツ交流会（参加者220名）が開催され、会員相互の親睦が図られた。12月末の会員数は630名であり、昨年度より49名増である。 【人財が育つ環境づくり】については、第4回・第5回ましこ町民大学開設検討委員会を開催し、募集要綱及びカリキュラムを策定した。ましこ検定については、第1回・第2回実行委員会を開催し、検定日を3月4日に決定するとともに、合格証や缶バッジ等のデザインについて検討した。遊びの達人講座については、講師の中山正夫氏、床井秀夫氏の指導の下、10月1日に竹製「巣箱づくり」を実施した。参加者は15名であった。		【強い心】については、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）」において、平成29年度派遣校に七井小が決定したので、派遣に向けて実施計画書等の準備を進める。また、栃木県主催「巡回公演事業」についても、追加募集への準備を進める。学校司書配置事業については、学校司書配置要綱の内容を検討し、策定に向けて準備を進める。小中学生の皆勤率は、1学期と比較すると大幅に低下しているの、3学期の皆勤率が向上するよう各学校への支援を続ける。 【学び】については、各小中学校の学力向上において、学力向上改善プランを基に学力向上アドバイザーと共に学校への指導・助言を続ける。また、3月3日に第2回学力向上推進委員会を開催し、各小中学校の取組状況について協議する。中学生海外派遣事業については、1月5日に団員による報告会を開催するとともに、当日「報告書」を配布し活用を図る。英検検定料補助金交付事業については、本年度最後となる第3回英検に向けて受験を積極的に働きかける。育脳プログラム事業については、第3回育脳プログラム作成委員会を開催し、プログラム案をまとめる。 【たくましさ】については、小中学校の体力づくりにおいて、2月13日に第6回体力向上プログラム作成委員会を開催しプログラムを完成させるとともに、3月中に製本し各小中学校への配布の準備を行う。少年スポーツ教室については、未開催の5種目について講師と参加者の連絡調整を行い、より効果のある開催に向けて準備を進める。指導者育成教室については、早急に講師の選定と開催日時の調整を行う。ましこチャレンジクラブについては、さらに広報・PR活動やプログラムの充実を図る。 【環境づくり】については、3月に第6回ましこ町民大学開設検討委員会を開催し、講師の選定を行い、講師の依頼を進める。ましこ検定については、多くの方が応募できるよう広報活動に力を入れるとともに、検定に向けての物品等の手配やボランティア等の依頼について準備を進める。遊びの達人講座については、次年度の開催に向けて、「遊びの達人講座事業実施要綱」を策定する。			

新ましこ未来計画推進状況総括シート

基本目標	社会的に自立した人を育てる				
成果指標	「子育て・教育をしてよかったと思う人」人の割合	本年度目標値	前年度増	現状値	87.1%
成果指標	「地域・社会活動をする人」の割合	本年度目標値	58%	現状値	50.5%
基本目標における当該期の実施内容・成果の総括		次期四半期以降への方針(第4四半期では、次年度の方針)			
(第4四半期分含む)	成果指標1「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合は87.1%であり、本年度目標値を0.1%超えた。成果指標2「地域・社会活動をする人」の割合については、調査未実施である。本年度の成果の総括は、次のとおりである。 【動い心をもつ人財の育成】については、指標1「小・中学生の1年間の皆勤率」は45.9%であり、目標値51.0%に達しなかった。指標2「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合は調査中である。主な事業として、小・中学校宿泊訓練事業、Q U事業、中学校文化部活動外部指導者派遣事業、学校司書配置事業、子育て支援教室、小学生移動音楽鑑賞教室、文化庁巡回公演事業(田野中)を実施した。施策1の進捗状況は、100%である。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1「全国学力テスト全国順位(中学3年時)」は全国4位であり、目標値5位以内を達成した。指標2「中学校における英検3級取得率」は23.0%であり、目標値18.0%を超えた。主な事業として、町学力状況調査事業、マイチャレンジ推進事業、A L T活用事業、外国語活動小中連携事業、英検検定料補助金交付事業、町中学生海外派遣事業を実施した。これらの事業の進捗状況は、100%である。なお、ましこ育脳プログラム作成事業の進捗状況は、原案作成中のため90%である。 【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2「小学生のスポーツクラブ参加率」は62.9%であり、前年度の56.4%を越えた。指標3「小・中学生の新体力テストA級以上の取得者の割合」は12.0%であり、目標値12.0%に達した。主な事業として、こころのプロジェクト夢教室、体力向上プログラム作成事業、中学校運動部活動外部指導者派遣事業、少年スポーツ教室を実施した。これらの事業については100%の進捗状況であった。なお、ましこチャレンジクラブの支援の進捗状況は、フェイスブック等による情報発信ができなかったため75%である。また、指導者育成教室は、予定種目の半数程度の実施であったため50%である。 【人財が育つ環境づくり】については、指標1「町民学士認定者数」は129人、指標2「ましこ検定の合格者数」は39人、指標3「遊びの達人の登録者数」は2人であった。主な事業として、ましこ検定の実施、ましこ町民大学開設検討委員会の開催、遊びの達人による講座開催の準備を行った。施策4の進捗状況は100%である。		次年度の成果指標1の割合については、前年度より0.1%増の87.2%とする。成果指標2の割合については、前年度増とする。また、次年度の方針は、次のとおりである。 【動い心をもつ人財の育成】については、指標1は平成27年度43.7%、平成28年度45.9%である。徐々に皆勤率を上げているので、目標値に到達できるよう各学校への支援を行う。指標2の目標値については、前年度増とする。主な事業では、中学生移動音楽鑑賞教室の開催、文化庁公演事業(田野小・益子小・七井小)の推進、学校司書配置による学校図書館活動の充実等を図る。また、「豊かな心育成のまち宣言」づくりに向けて策定委員会を立ち上げ、準備を本格的に進める。 【学びを通して社会に貢献できる人財の育成】については、指標1の全国順位5位以内を堅持する。指標2の目標値については、平成29年度目標値22.0%を達成しており、前年度増とする。主な事業では、町学力状況調査事業の年2回実施、小学校外国語活動特例校中間発表会の開催、英検検定料補助金交付事業の充実等を図る。また、ましこ育脳プログラム作成事業については、育脳インストラクターの指導の下、原案の修正を行い、今年度中に完成させる。 【たくましく生きるための人財の育成】については、指標2の目標値を前年度増とする。指標3の目標値については、12.5%とする。主な事業では、体力向上プログラム活用事業の推進、中学校運動部活動外部指導者派遣事業の活性化、マシコット体操の楽曲作製、指導者育成事業の充実等を図る。 【人財が育つ環境づくり】については、指標1、指標2、指標3の目標値については、いずれも前年度増とする。主な事業では、ましこ町民大学の9月開設、遊びの達人による講座の開催と遊びの達人の登録者数の増加、第2回ましこ検定の充実等を図る。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	勤い心を持つ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	51%	現状値	45.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	－(H27調査未実施)	現状値	98.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			①4/20（9か月健診） ②保育園長会の会長に説明。協力の了承を得る。	
	5月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し勤い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①5/24(9か月健診)・5/9(3歳児健診)時読み聞かせと絵本配布実施。	
	6月			①6/29(9か月健診)読み聞かせ・絵本配布実施。	
	7月			①7/22(9か月健診)7/3（3歳児健診）読み聞かせ・絵本配布実施。	
	8月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し勤い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①8/29(9か月健診)	
	9月			①9/14(9か月健診)読み聞かせ・絵本配布実施。	
	10月			①10/19(9か月健診)読み聞かせ・絵本配布実施。	
	11月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し勤い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。 ①③次年度へ向けて計画立案。		①11/29(9か月健診)11/9（3歳児健診）読み聞かせ・絵本配布実施。	
	12月			①12/14(9か月健診)読み聞かせ・絵本配布実施。	
	1月			①1/30(9か月健診)1/12（3歳児健診）読み聞かせ・絵本配布実施。	
	2月	①9か月健診時ファーストブックスタート、3歳児健診時セカンドブックスタート事業を実施。読み聞かせと絵本の配布。 ①早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。 ②保育園、認定こども園に対し勤い心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ③子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。 ①③次年度へ向けて計画立案。		①2/17(9か月健診)読み聞かせ・絵本配布実施。	
	3月			①3/16(9か月健診)3/13（3歳児健診）読み聞かせ・絵本配布実施。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①9か月健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを実施、母親からは、お礼の言葉の言葉をいただき、好評であった。また、各種乳幼児健診等をおして早寝・早起き・朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②全保育園・認定こども園が必要性は高いとしている。 ③子育て教室食育教室等の開催。	①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。 ②各園毎に趣旨に合った取組を実施しているため、それを尊重しながらご協力をいただく。
第2四半期	①9か月健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを継続して実施、母親からは、お礼の言葉の言葉をいただき、好評であった。また、各種乳幼児健診等をおして早寝・早起き・朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②全保育園・認定こども園が必要性は高いとしている。 ③子育て教室食育教室等の開催。	①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。 ②各園毎に趣旨に合った取組を実施しているため、それを尊重しながらご協力をいただく。
第3四半期	①9か月健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを継続して実施、母親からは、お礼の言葉の言葉をいただき、好評であった。また、各種乳幼児健診等をおして早寝・早起き・朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②全保育園・認定こども園が必要性は高いとしている。 ③子育て教室食育教室等の開催。	①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。 ②各園毎に趣旨に合った取組を実施しているため、それを尊重しながらご協力をいただく。
第4四半期	①9か月健診・3歳児健診において、絵本のプレゼント及び読み聞かせを継続して実施、母親からは、お礼の言葉の言葉をいただき、好評であった。また、各種乳幼児健診等をおして早寝・早起き・朝ごはんを普及、子どもの豊かな心を育むための取組を実施している。 ②全保育園・認定こども園が必要性は高いとしている。 ③子育て教室食育教室等の開催。	①③関係各課・関係機関と連携を取りながら、子ども・子育てのため継続して支援していく。 ②各園毎に趣旨に合った取組を実施しているため、それを尊重しながらご協力をいただく。

		⑥外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		関係各課と連携を図り、継続して実施していきたい。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		早寝・早起き・朝ごはんについては、12ヶ月児健康相談や2歳児歯科検診でパンフレット等を配布し、管理栄養士による集団講話、食生活改善推進員による簡単朝食（おやき）の試食配布等幼少期からの食育推進として取り組んでいる。また、4ヶ月健診時の集団講話でも、食事を楽しむ大切さ等0歳児からの食育についてふれている。引き続き取り組んでいきたい。
	総括（第4四半期も含む）	早寝・早起き・朝ごはんについて、全国協議会からパンフレット、ガイドブック等の入手が可能である。乳幼児等幼少期からの動機づけが重要であることから、就学前よりも早期に実施を検討できないか。 保育園、認定こども園との連携をさらに密にし実施されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	勤い心をもつ人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	51%	現状値	45.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	－(H27調査未実施)	現状値	98.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）	②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月		①H28.4.4 各中学校へ外部指導者の推薦を依頼。 ①H28.4.8 各小中学校へ、文化芸術による子供の育成事業の一つである「子供・夢・アート・アカデミー事業」の周知。 ①H28.4.19 Q U事業を各小中学校へ周知。 ①H28.4.28 各中学校からの外部指導者の申請書受理。		
	5月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施し、各中学校の文化部に外部指導者を派遣し、保険加入処理をする。 ①各小中学校へ文化庁事業「文化芸術による子供の育成事業」の周知を行う。 ①Q U事業を各小中学校へ周知する。全小中学校で第1回目を実施する。 ②全小学校4.5年生、全中学校1.2年生で宿泊体験学習を実施。宿泊訓練事業補助金や、臨海自然教室実施に伴うバス借り上げ業務等の運営面の支援を行う。 ①新規中学校文化部活動外部指導者に対しては外部指導者調査の提出依頼。	①H28.5.19 外部指導者の決定。各中学校へ派遣。 ①H28.5.24 外部指導者のスポーツ保険加入処理。 ②5月中旬各小学校に宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い。 ②H28.5.31 益子中に宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い。 ②H28.5.31 Q U事業実施（益子小） ②H28.5.18～H28.5.20 Q U事業実施（益子西小） ②H28.5.23 Q U事業実施（田野中） ②H28.5.11 Q U事業実施（七井中）		
	6月		②H28.6.6～H28.6.14 Q U事業実施（田野小） ②H28.6.2～H28.6.13 Q U事業実施（益子小） ②H28.6.20 Q U事業実施（益子西小） ②H28.6.17 Q U事業実施（七井小） ②H28.6.24 Q U事業実施（益子中） ②H28.6.1～H28.6.3 臨海自然教室実施。バス借上げ業務完了。 ②H28.6.20 七井小の宿泊訓練事業補助金の額の確定、精算。 ②H28.6.30 益子小の宿泊訓練事業補助金の額の確定、精算。 ②H28.6.3 田野中の宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い。 ①H28.6.24 新規外部指導者からの外部指導者調査を受理。		
	7月		①H28.7.25 各小中学校へ、文化芸術による子供の育成事業（巡回公演）の追加募集の周知。 ①H28.7.4 中学校文化部活動外部指導者派遣事業現状調査 ①H28.7.4 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼 ②H28.7.27 七井中の宿泊訓練事業補助金の交付決定、額の確定		
	8月	①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校文化部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理 ①第1学期の皆勤者数調査を実施。 ①教職員対象にQ U研修会を実施	①H28.8.12 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書受理 ①H28.8.12 栃木県主催の巡回公演（演劇）の追加希望調査の報告。 ①H28.8.12 益子町Q U研修会の実施		
	9月		①H28.9.2 芳賀町主催の学校図書館研修会に参加。また、各小中学校に学校図書館に関するアンケートを実施。 ①H28.9.5 H29年度の文化芸術による育成事業（芸術家の派遣事業）の希望調査実施。 ①H28.9.27 中学校文化部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理		
	10月		②H28.10.3～5 Q U事業実施（益子西小） ②H28.10.24 田野中の宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い。		
	11月	①学校司書配置要綱を策定する。 ①文化芸術による子供の育成事業である、巡回公演事業、芸術家の派遣事業の周知、推奨をする。 ①全小中学校でQ U事業を第2回目を実施する。Q U事業の活用の仕方を支援する。 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。	①H28.11.15 田野中で巡回公演事業実施。実施報告書を県へ提出。 ①H28.11.7 H29年度の文化芸術による子どもの育成事業（巡回公演事業）の希望調査実施。 ①H28.11.1 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼 ②H28.11.9 Q U事業実施（七井小） ②H28.11.11～24 Q U事業実施（田野小） ②H28.11.28～12.21 Q U事業実施（益子小） ②H28.11.18 Q U事業実施（益子中） ②H28.11.25 Q U事業実施（七井中） ②H28.11.9 益子中の宿泊訓練事業補助金の交付決定、概算払い。		
	12月	①中学校文化部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理	①H28.12.27 中学校文化部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理 ①次年度の文化芸術による子どもの育成事業及び栃木県主催の巡回公演の予定を県に確認 ①学校図書館に関するアンケートのとりまとめ ②H28.12.2～7 Q U事業実施（田野中） ②H28.12.27 七井中の宿泊訓練事業補助金の交付決定、額の確定		
	1月		①H29.1.23 H29文化芸術事業（巡回公演事業）の日程確認報告		
	2月		①H29.2.14 H29文化芸術事業（巡回公演事業）の日程調整（再） ①H29.2.23 H29栃木県巡回公演（伝統芸能）の追加希望調査実		
	3月	①中学校文化部活動外部指導者源泉徴収票作成処理 ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校文化部活動外部指導者（第3期分）謝金支払い処理 ②Q U事業実績報告書提出依頼、支払い処理。	①H29.3.1 H29文化芸術事業（巡回公演事業）の日程確定通知あり。該当校へ連絡。 ①H29.3.2 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①H29.3.13 H29文化芸術事業（芸術家の派遣事業・巡回公演事業）の内定通知あり。 ①H29.3.14 H29栃木県巡回公演（伝統芸能）の追加希望調査回答。 ①H29.3.16 益子町小中学校学校司書配置要綱を策定。 ①H29.3.22 中学校文化部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書受理。		

	③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	1年間皆勤率の目標値に対する現状値については、第1四半期では、第1学期も終了しておらず、数値の把握が困難なため未記入。 ①5文化部中、現在2文化部にて、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施（新規中学校文化部活動外部指導者2名）5文化部中、現在3文化部にて、中学校文化部活動外部指導者不在という状況となっている結果であることから、【中学校文化部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの文化芸術活動向上を支援する上で支障はないのか】という課題が確認できる。 ①各学校へ今年度実施の「文化芸術による子供の育成事業」の周知を行った結果、希望校が2校で、そのうち1校の採択実施が決定した。今年度希望がなかった学校も、次年度は積極的に活用を希望し応募してもらいたい。 ②益子小中学校児童生徒のQ.U実施を確認した。7月・8月にQ.Uの結果が返却する予定。各学校の全職員で結果を分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防が期待できる。	皆勤率について、1学期終了後に1学期分の皆勤者数、長期欠席者数調査を実施し、実態把握とともに学校側への意識付けを図る。保護者の協力が必要であることから、情報の提供や皆勤の奨励方法について検討する。 ①【中学校文化部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの文化芸術活動向上を支援する上で支障はないのか】という課題を解決するため、各中学校へ中学校文化部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施。顧問の指導により支障なしという調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。 ①校長会等で次年度の「文化芸術による子供の育成事業」の積極的な活用を依頼する。
第2四半期	①芳賀町主催の学校図書館研修会に参加。芳賀郡の小中学校教諭、学校司書、行政職員が集まり、それぞれの町、学校の意見交換をした。芳賀町や真岡市ではすでに学校司書を各学校に配置しており、学校司書の必要性等を学ぶことができた。これを機に、益子町でも各小中学校にアンケート調査を実施し、学校図書館の現状を知った上で、学校司書配置に向け進めていきたい。 ①7月に栃木県主催の巡回公演の追加希望調査があった。これとは別の文化庁事業の巡回公演は事業費の全額を文化庁が負担するものだが、栃木県主催の巡回公演は、事業費の1/2を町が負担するものであった。次年度以降は当初予算に本事業分の予算を計上する必要があると考える。	①学校図書館に関するアンケート調査を取りまとめ、各学校の学校図書館の現状を分析する。 ①次年度の栃木県主催巡回公演の実施が決まっているかどうか県に確認する必要がある。
第3四半期	①学校図書館に関するアンケートの結果、「図書・資料が古いものが多い」「図書・資料の整理がいきとどかない」などの課題が各学校からあげられた。また、学校司書の配置を希望するかという質問では、7校全てで希望ありという回答だった。学校司書を配置することで学校図書館の図書の維持管理の充実や授業での学校図書館の活用の期待度が大きいことが分かった。 ①文化芸術による子供の育成事業の巡回公演事業において、中学校1校で狂言の公演が11月に実施された。狂言は生徒たちにとってなじみのないものであったが、公演は分かりやすく、楽しい内容であったため、日本の伝統文化に触れることができとても良い機会であったと考える。 また、次年度の巡回公演事業においては、芳賀地区が優先地区となっており、各小中学校に周知し希望をとった結果、小学校2校から希望があがった。芸術家の派遣事業においては、小学校1校から希望があり、既にピアノ奏者の派遣が決まった。また、次年度の栃木県主催の巡回公演事業においては、優先地区が他地区であり、他地区で希望枠が埋まらなければ、次年度当初に芳賀地区にも追加の募集があることを確認したので注意して待ちたい。	①アンケートの結果を基にして、学校司書配置要綱の内容を検討し、策定に向けて事務を進める。 ①次年度の芸術家の派遣事業においては、小学校1校で希望がとおり派遣が決定した。派遣にむけて実施計画書等の準備を進める。また、巡回公演事業においては、希望校の採否の結果通知を待つ。
第4四半期	①次年度の文化芸術事業（巡回公演）において、希望していた小学校2校の内定通知が県教委から届いた。 ①益子町立小中学校学校司書配置要綱を策定。司書の資格があることを応募条件とし、町のホームページ等で募集をかけた。	①文化芸術事業の巡回公演（2校）及び芸術家の派遣事業（1校）の実施に向けて実施計画書等の事務を進める。 ①次年度、学校司書の配置に向けて、まずは応募者の採用事務、配置計画等の事務を進める。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 学校側との連携を密にし、継続されたい。 外部指導者の派遣について、部活顧問の方針・考えがあると思うので、受けるかどうか等はこれまで通りとし、制度の継続を望む。		①学校司書配置事業においては、配置要綱を今年度中に策定予定である。 ①外部指導者の派遣については、現行のまま継続していく。 ・宿泊学習については、学校の都合で同日に行えない場合があるが、なるべく、同日に行えるよう支援する。
	第2四半期	益子小・益子西小の宿泊学習について、中学校では一緒になることから現在のとおり同日に行う制度を継続してほしい。 学校司書について、ぜひ配置してほしい。併せて、これまで以上に図書室の充実と活用を検討されたい。		
総括(下半期も含む)	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 QUについて、アンケート実施よりその結果をどのように活用するかが重要。活用方法について学校側と連携したとのことだが、継続して実施されたい。		次年度は既存のQUの他に、社会性の調査を加えたhyper-QUを実施する。これまでの人間関係等からの不適応の状況を把握するとともに、軽度の発達障害のある子たちのソーシャルスキル等を調べるができる。不適応の原因をこれまで以上に詳細に把握し、子どもたちの支援をさせたい。また、夏季休業を利用し、学年主任や学級担任を対象にhyper-QUの活用の仕方について研修会を設定したい。
	総括(第4四半期も含む)	学校司書、図書室の充実に配慮されたい。		次年度は図書館司書を配置し、益子町小中学校を巡回し、図書教育と連携し、学校図書館教育を充実させたい。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	勁い心をもつ人財の育成		進捗状況	50%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率		本年度目標値	51%	現状値	45.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合		本年度目標値	－(H27調査未実施)	現状値	98.6%
KPI			本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取 組 内 容	4月	①移動音楽鑑賞教室開催に向けての準備、調整を行い6月16日に開催する。 豊かな心育成のまち宣言準備スケジュールの作成		①移動音楽鑑賞教室開催に向けての連絡調整が終了した。 (学校、教育事務所、日本文化センター、バス会社)		
	5月			①移動音楽教室保護者宛案内通知を発送（空席を鑑賞希望の保護者に開放するため）		
	6月			①移動音楽鑑賞教室開催（6/16実施 鑑賞者数：649名）益子広報7月号に開催記事を掲載した H29「豊かな心育成のまち宣言」に向け委員会設立を検討。		
	7月	①豊かな心育成のまち宣言準備業務		H29「豊かな心育成のまち宣言」に向け委員会設立を検討。		
	8月			H29「豊かな心育成のまち宣言」に向け委員会設立を検討。		
	9月			「益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会設置要綱」案の作成		
	10月	①来年度実施の中学生への音楽鑑賞教室を企画する。 ②豊かな心育成のまち宣言準備業務				
	11月					
	12月			①校長会（12/9）で来年度の方向性を伺い、独自で音楽鑑賞教室を実施することで決定。今後委託者を検討する。 ②「益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会設置要綱」案の作成		
	1月	①豊かな心育成のまち宣言準備業務		①移動音楽教室開催可能日の調査を3中学校に実施（1/24）		
	2月			①移動音楽教室開催日と出演者の決定		
	3月			「益子町豊かな心育成のまち宣言策定委員会設置要綱」案の作成		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①本年度は小学4～6年生を対象に実施した。途中で体験をするコーナーがあり初めのうちは声が小さかったが、だんだんと会場全体から声が出て大変盛り上がった。音楽の楽しさを十分に体感できるコンサートとなったと考えている。子ども達の心をつかむようなはたらきかけが重要と感じた。 「豊かな心育成のまち宣言」設立委員会のメンバー選出、宣言後の具体的な行動内容が課題。	①来年度は中学生が対象となるため、中学生が興味をもってくれるような催し物について検討していきたい。 「豊かな心育成のまち宣言」設立委員会のメンバーについては、青少年育成協議会の委員の中から選出することで考えている。内容については、先進事例を参考にしながら、事務局で案を打ち出す。
第2四半期	・豊かな心育成のまち宣言策定の今後のスケジュール 平成28年度 策定に関する調査の実施 策定委員会設置要綱の策定 平成29年度 策定委員会設置要綱の策定 策定委員会の設置 委員会 年間5回程度 ポスター・リーフレット作成業務委託予算計上 平成30年度 ポスター及びリーフレットの作成（9月納品） 普及・啓発（10月以降）	①平成29年度当初予算作成の時期になるため、来年度は中学生が対象なので、どのような内容にするか検討する。 ・豊かな心育成のまち宣言 内容については、先進事例を参考にしながら、事務局で案を打ち出す。
第3四半期	①中学生にふさわしい演奏家を見つけることが課題。 ①策定委員の対象	①演奏家に中学生対象の音楽鑑賞教室の開催に向けて、引き受けてくださるか交渉する。 ①策定委員・内容（案）の検討
第4四半期	①次年度のスムーズな開催に向けて、バスの借り上げや出演者との連絡を密にする。	①次年度のスムーズな開催に向けて、バスの借り上げや出演者との連絡を密にする。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		①移動音楽教室の際席が余る状況は今後も続くので、引き続き父兄に参加を呼びかけ、素晴らしい音楽の提供をするとともに、親子で共通の体験をすることにより、コミュニケーションを図る機会の提供に努めていきたい。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		①移動音楽教室の際席が余る状況は今後も続くので、引き続き父兄に参加を呼びかけ、素晴らしい音楽の提供をするとともに、親子で共通の体験をすることにより、コミュニケーションを図る機会の提供に努めていきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 移動音楽教室について、生の演奏はどの家庭でも手軽に経験できることではないことから開催の継続を望む。なお、席が余っているときは父兄への声かけなどをしていただけるとありがたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

			課局名	企画課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成		進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位		本年度目標値	5位以内	現状値	4位
KPI	中学校における英検3級取得率		本年度目標値	18%	現状値	23.0%
KPI			本年度目標値		現状値	
			①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する				
	5月					
	6月		④第1回打合せを行う。町民活動支援センター・子育て支援センター・学習室の3施設の設置場所として福祉センターが案に上がった。この案を中心に管財係で調査を行うこととなった。差し当たって福祉センターの利用状況を調査した。			
	7月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する	④子育て支援センター、町民活動支援センターの設置に向けて住民アンケートを今年度中に行う			
	8月		④子育て支援センター、町民活動支援センターとの調整を図る。			
	9月		④子育て支援センター、町民活動支援センターとの調整を図る。			
	10月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する				
	11月		④健康福祉課との協議により、子育て支援施設への自習室の開設はとん挫したことから、町民活動支援センターの整備に合わせて検討をすることとなった。			
	12月		④町民活動支援センターの整備について合わせて検討をすることとなったため、町民活動支援センターの実施計画内に盛り込むこととした。			
	1月	④自習室の開設に際し、町有施設の活用を検討する	④町民活動支援センターと学習室を複合化した施設の設置可能な場所について既存の町内施設を検討した。			
	2月		④町民活動支援センターと学習室を複合化した施設の設置可能な場所について既存の町内施設を検討した。			
	3月		④町民活動支援センターと学習室を複合化した施設の設置可能な場所について既存の町内施設を検討した。			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	④現在、福祉センターは福祉目的のみの利用となっており、平日の5時以降や土日は閉館となっているため、利用者も少なく効率的に利用されていない。 今後、老朽化に伴い、多額の修繕費用が見込まれるため、コストに見合った利活用が必要となる。 1. 子育て支援センターについては、2Fの児童室ですでに子育て支援の事業が行われていることから適している。 2. 学習室については、真岡鐵道を利用する高校生の利便性を考慮し、適している。(現在観光協会で学習している学生も多く見受けられる) 3. 町民活動支援センターについては、ボランティア事業を実施している社会福祉協議会が福祉センター内にあり、連携を取るために適している。 以上のことから、健全な財政運営と利用する町民の利便性等を勘案し、福祉センターが最適であると判断した。	④庁内や関係する団体との調整を進め、29年度に整備、30年度開設を目指す。
第2四半期		
第3四半期	④国の地方創生拠点施設整備交付金の活用した子育て支援施設内への自習室の設置は施設の規模から難しことから、町民活動支援センター開設に合わせて検討することとし、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④庁内や関係する団体へのアンケート等調整を進め、29年度に整備、30年度開設を目指す。
第4四半期	④町民活動支援センター開設に合わせて検討することとし、引き続き関係する健康福祉課・生涯学習課等と調整を行う。	④庁内や関係する団体へのアンケート等調整を進め、29年度に整備、30年度開設を目指す。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 生涯学習課との連携及び現状での子どもたちの自習室としての利用状況（図書室、あぐり館等）の調査、要望等の聞き取りにより、町全体での設置計画が必要ではないか（生涯学習課シートより：企画課との連携及び町全体での設置計画の必要性等を総合的に判断されたい）。		外部検証委員からの意見も踏まえ、各施設の利用状況及びアンケート調査等を今後実施し、町内施設の有効活用を前提とした計画により開設を図る。
	第2四半期	自習室の開設はよいと思う。公民館図書室を利用する中高生もいることから、有効に活用願いたい。なお、真岡鐵道を利用する高校生もいることから駅近辺の設置を検討されたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		既存施設の利用状況を確認し、施設の有効利用を検討して開設を図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	90%		
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	4位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	18%	現状値	23.0%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			①研修会開催4/13, 4/14 講演会予定7/2 作成検討委員会の開催予定6月	
	5月	①育脳プログラムを作成のため、研修会、講演会、作成委員会の準備・委員会の設置・要綱を作成する。		①講演会、作成委員会の開催に向けて準備。係、関係課打ち合わせ。	
	6月			①講演会、作成委員会の開催に向けて準備。係、関係課打ち合わせ。6/1作成委員会要綱設置。6/7第1回作成委員会開催。	
	7月			①7/2講演会開催。プログラム作成に向けて準備、係で打ち合わせ。	
	8月	①育脳プログラムを作成のため、講演会の開催7/2、第2回作成委員会（9月予定）の開催をする。 原案を作成する。		①プログラム作成に向けて係で打ち合わせ。	
	9月			①プログラム作成に向けて係で打ち合わせ。次回、作成委員会11/18予定、育脳インストラクター講座及び委員会出席予定。	
	10月			①育脳インストラクターによる子育てセミナー、作成委員会の開催に向けて準備。係、関係課打ち合わせ。	
	11月	①育脳プログラムを作成のため、研修会の開催、第3回作成委員会（11月予定）の開催をする。 原案を作成する。 次年度の計画を立案する。		①11/18作成委員会、11/19子育てセミナーの開催。作成委員会に育脳インストラクター出席。	
	12月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	1月			①プログラム作成について育脳インストラクターからの助言指導。（メール、電話等）	
	2月	①育脳プログラムを作成のため、研修会の開催、第4回作成委員会（1月予定）の開催をする。 原案を作成する。 次年度計画を立案する。		①2/13, 14子育て支援関係者研修会および赤ちゃん相談・12か月相談・幼児学級で子育て講座を開催。育脳インストラクター指導のもと原案を作成。	
	3月			①プログラムを作成する。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①育脳プログラム作成のため、関係者を交えて研修会を実施する。参加者からは、脳科学という視点からの子育てへの取り組みという共通理解が図られた。また、作成委員会を設置する。6/7に第1回会議を開催、子育ての現状や課題について貴重な意見をいただき、育脳への取り組みについて理解が図られた。7/2講演会を実施、育脳について住民に啓発普及を図り、育脳への理解を深めたい。	①研修会で育脳への理解が図られ、関心度も高いと思われた。町民向け講演会を開催し、育脳の啓発普及に努めたい。また育脳への、さらなる共通理解を深めるためにも作成委員会を交えた研修会の開催が今後必要と思われる。プログラム作成に向けて、作成委員会等子育て関係者に意見を伺い、引き続き進めていきたい。
第2四半期	③11/18第3回育脳作成委員会を開催。育脳インストラクターをアドバイザーとして迎える。翌11/19住民向け育脳講座を実施、啓発普及する。	①作成委員会や関係者、住民へ育脳について紹介し、共通理解を得て、育脳を推進していきたいと考えている。育脳インストラクターによるプログラム作成のアドバイスと啓発普及を同時に進めていく。
第3四半期	①作成委員会に育脳インストラクターによる研修及び助言があったこと、また、住民対象に子育てセミナーを開催したことで、プログラムの効果、必要性等について理解を深められた。 ②子育てセミナーは会場の関係もあり参加者数が制限されていたため、今後幅広い世代へ向けて、育脳への理解、啓発普及を図る必要があると思われる。	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成していくとともに、啓発普及に引き続き取り組んでいきたい。
第4四半期	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成中。最終構成のため、作成委員をはじめ、保育園・認定こども園・小学校に意見を伺い集約、次年度で作成委員会を開催検討する。啓発普及にも引き続き取り組んでいきたい。	①育脳インストラクターに助言を頂きながら、プログラムの原案を作成していくとともに、啓発普及に引き続き取り組んでいきたい。育脳インストラクターによる5/17、18講座の予定

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		育脳プログラム作成・普及に向けて研修会、作成委員会を開催していく。また、住民に向けて講座の開催を実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		育脳プログラムの最終校正・普及に向けて研修会、作成委員会を開催していく。また、住民に向けて講座の開催を実施していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位	本年度目標値	5位以内	現状値	4位
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	18%	現状値	23.0%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）	②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査を実施し、結果の分析をする。 ①英検検定料補助金運用HPを開設し、各中学校へ周知する。	①H28.4.6 ALTを小学校3名、中学校3名を配置 ①H28.4.19 小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査を実施 ①H28.5.2 英検検定料補助金運用HPを開設 ③H28.4.25 マイチャレンジ推進事業補助金内示		
	5月	①ALTを小学校3名、中学校3名を配置する。外国語小中連携授業参観を行う。小学校外国語活動推進委員会を実施し、今年度の活動の計画を立てる。 ②中学生海外派遣団員選考試験、選考会	②H28.5.29 中学生海外派遣選考試験 ③H28.5.16 マイチャレンジ推進事業補助金事業計画書提出 ③H28.5.24 マイチャレンジ推進事業補助金の交付決定 ①H28.5.20小学校外国語活動授業参観(益子西小) ①H28.5.19外国語小中連携授業参観(田野中) ②H28.5.31学力向上アドバイザー派遣事業同行（七井中）		
	6月	②学力向上アドバイザー派遣事業に同行し、小学校4、5年生及び中学校2年生を対象に学力調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ③マイチャレンジ推進事業補助金の内示(20,000円×8学級分) ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金の交付決定、概算払い ③各中学校においてマイチャレンジ事業を実施	①H28.6.9外国語小中連携授業参観(七井中) ①H28.6.10外国語小中連携授業参観(益子中) ①第1回小学校外国語活動推進委員会 ①H28.6.13 小学校3年生及び中学校1年生を対象に、町独自の学力調査及び生活・意識調査結果を各学校へ配送 ②H28.6.8中学生海外派遣団員選考会 ②H28.6.8学力向上アドバイザー派遣事業同行（益子西小） ②H28.6.13タブレットPC実演会 ①H28.6.10～H28.6.12第1回英語検定 ③H28.6.20 マイチャレンジ推進事業補助金の概算払い ③H28.6.15～6.29 マイチャレンジ推進事業実施		
	7月	①学力向上推進委員会で、町独自の学力調査及び生活・意識調査の結果報告を行う。学力向上改善プランの立案を支援する。	②H28.7.27中学生海外派遣団員結団式及び事前研修会 ③H28.7.15 今年度のマイチャレンジ推進事業の成果・今後の課題調査 ③H28.7.22 今年度のマイチャレンジ推進事業の成果・今後の課題受理		
	8月	②ALTを講師に外国語活動スキルアップ講座を開催し、小学校教諭の英語力を高められるように支援する。外国語活動研修会を開催し、小学校教諭の知識を高められる支援する。 ②各小学校に新たに電子黒板1ずつ配置。田野中、七井中に新たに電子黒板1台ずつ配置。益子中に新たに電子黒板2台配置。電子黒板1台につきタブレットパソコン7台配置 ②中学生海外団員結団式、事前研修会。 ②学力向上アドバイザー派遣事業に同行し、学力向上改善プラン作成や授業改善の支援する。	①H28.8.9益子町小・中学校学力調査結果報告会及び第1回学力向上推進委員会の実施 ②H28.8.1・2・4 益子町英語力アップ講座実施 ②H28.8.12 益子町小学校外国語活動研修会の実施 ②H28.8.22～8.26中学生海外派遣団員事前研修会 ②h28.8.22 学力向上アドバイザー派遣事業同行。（七井中） ②H28.8.23 益子町小学校外国語活動推進委員会の実施		
	9月		②H28.9.1各小学校に新たに電子黒板1台ずつ配置。田野中、七井中に新たに電子黒板1ずつ配置。益子中に新たに電子黒板2台配置。また、田野中、七井中にタブレットパソコンを12台ずつ配置。益子中にタブレットパソコン18台配置。 ②H28.9.23学力向上改善プラン完成（益子立小中学校） ②H28.9.29学力向上アドバイザー派遣事業同行（七井中）		
	10月		②中学生海外派遣団結団式10/27 ③H28.10.4 七井中にてマイチャレンジ発表会実施		
	11月	①小学校外国語活動授業研究会を開催し、担当教諭の授業力向上を支援する。 ②中学生海外派遣団結団式 ②中学生海外派遣団員派遣 ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出	②中学生海外派遣団派遣11/3～11/11		
	12月				
	1月		②報告会 1/29 報告会開催 ②H29.1.10七井中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出・精算 ③H29.1.4 マイチャレンジ推進事業事後アンケートを各中学校へ依頼		
	2月	①外国語活動小中連携出前授業を行い、中学校英語との連携を図られるよう支援する。小学校外国語活動推進員委員会を開催し、今年度の成果を検証する。 ②中学生海外派遣団報告会	③H29.2.9 田野中立志式にてマイチャレンジ発表会実施予定 ③H29.2.14益子中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出・精算 ③H29.2.14田野中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金実績報告書の提出・精算		
	3月		③H29.3.4 マイチャレンジ推進事業事後アンケートを各中学校から受理、集計		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	全国学力テスト全国順位の目標値に対する現状値については、結果が第2四半期となるため、未記入。 中学校における英検3級取得率の目標値に対する現状値については、検定が年3回実施され、第1回目の結果については第2四半期に判明のため、申し込人数を記載。 ①第1回目の英検検定(3級以上)受験者が平成27年度12人に対して、47人に増加した。 ①全学年を通じ、総合的に学力の向上を目指すため町独自の学力調査を実施した(小3, 中1)が、中学1年では、社会科の学力向上に課題があった。 ②H28.6.15~6.29間にマイチャレンジ推進事業を実施したが、各中学校への概算払い日はH28.6.20であったという結果から、概算払い日の遅延という課題が確認できる。	全国、県、町の学力調結果を基に、内容を分析し学力向上改善プラン作成の支援を行う。 ③次年度は、概算払い日の遅延という課題を解決するため、内示を4月始め、事業計画書の提出期限を5月始め、交付決定を5月中旬、6月始めには概算払い可能となるよう取り組む。
第2四半期	③各中学校へマイチャレンジ推進事業の今後の課題を調査 ・生徒が希望する事業所の確保(新規開拓情報の共有希望) ・事業所の実施受入時期の調整との回答有り。 また、マイチャレンジ推進事業活動時期前に保険等の支払があり、補助金未払い時期のため、各中学校にて立て替えをしている現状が報告された。補助金支払時期の変更希望有り。	②第1四半期の課題への方針・改善点と同内容になってしまうが、補助金申請処理開始時期を従来より1ヶ月早め、支払時期を保険支払前時期に出来るよう、次年度は改善する。
第3四半期	緊急時の連絡体制の整備が課題。また、活動状況をメールで保護者に送信しているが、検討する余地がある。	情報担当課と協議。
第4四半期	報告会は各学校でも行っているが、派遣された生徒の経験や体験が、より多くの生徒に波及させることが課題。	ましこ広報の記事の内容をより充実させる。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 予算が許せばALTを小中各校に配置できればよい。 中学生海外派遣事業は経費も高く派遣人数も少ないので、改善の余地があると考ええる。		・中学生海外派遣について、派遣人数は、研修内容等からして、12名は妥当な数であり、経費も必要最低限の経費であると考ええる。派遣された生徒の体験が、より多くの生徒に伝わるよう図っていく。 ・マイチャレンジ推進事業について、今年度から事後アンケートを実施した。満足度や要望等を調査し、次年度への改善点を確認する予定である。 ・英検検定料補助制度を継続する予定である。 ・平成30年度小学校外国語活動時数増加に伴ない、ALT1名増員の予算を要望する予定である。
	第2四半期	中学生派遣事業について、派遣人員については現状でよいと考える。このような機会は大切であると考ええる。 目先の結果にこだわらず、長期的な視点による計画により実施されたい。 英検検定料補助制度があることで、受験する意識も高くなることから、制度の継続を望む。 マイチャレンジ事業について、社会勉強になる良い事業であるが、やりたいこと・行きたい事業所の希望をできる限り実現していただきたい。		
総括(下半期も含む)	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		学力調査の踏まえ、小・中学校学力調査結果報告会を開催した。各校ごとの結果分析をもとに、学習改善プランの作成の支援を行った。このプランに基づき、県教委や芳賀教育研究協議会と連携し、校内研究授業、授業研究会での指導支援を行い、各学校の教師の授業力を向上させ、児童生徒の学力向上を図りたい。 また、次年度は1月に小学校全児童を対象に町独自の学力学習調査を実施し、PDCAサイクルを2回実施する予定。児童生徒一人ひとりに結果をフィードバックすると同時に、指導者自らの指導改善を図らせたい。
	総括(第4四半期も含む)	②意見・提言 学力状況調査について、目先の数字にとらわれずじっくり学力向上に取り組まれたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

			課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成		進捗状況	5%		
KPI	全国学力テスト全国順位		本年度目標値	5位以内	現状値	4位
KPI	中学校における英検3級取得率		本年度目標値	18%	現状値	23.0%
KPI			本年度目標値		現状値	
			①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		④自習室建物の探し出し			
	5月	④中高生等学習自習室の建物の洗い出し	④自習室建物の探し出し			
	6月		町民活動支援センターとセット検討（6／29）総務・企画・健康福祉課・生涯学習課			
	7月		自習室場所の検討			
	8月	④建物所有者・管理者との調整	自習室場所の検討			
	9月		自習室場所の検討			
	10月		自習室場所の検討			
	11月	④中高生等学習自習室の開設	自習室場所の検討			
	12月		自習室場所の検討			
	1月		自習室場所の検討			
	2月	④中高生等学習自習室の開設	自習室場所の検討			
	3月		自習室場所の検討			

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	福祉センター2階和室の床を改修。同時に備品の購入により、自習室を整備。町民活動支援センターと自習室の管理をセットで考えている。 検討事項：運営日、運営時間、管理者等	今後の開設までのスケジュールは、町民活動支援センターと同様で考えている。工事等の発注も同センターの準備業務に含めることで考えている。
第2四半期	町民活動支援センターとの調整	町民活動支援センターとセットで考えている。
第3四半期	現在、自習室として中央公民館図書室及びあぐり館図書室を開放している。それらの部屋が満室となる日は年間約25日、満室の場合は同施設の空き部屋を使用させている。 公共的な施設で集中して学習できる環境は必要と考えている。	子育て支援センターとセットで考えている。
第4四半期	現在、自習室として中央公民館図書室及びあぐり館図書室を開放している。それらの部屋が満室となる日は年間約25日、満室の場合は同施設の空き部屋を使用させている。 公共的な施設で集中して学習できる環境は必要と考えている。	子育て支援センターとセットで考えている。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 企画課との連携及び町全体での設置計画の必要性等を総合的に判断されたい(企画課シートから：現状での子どもたちの自習室としての利用状況(図書室、あぐり館等)の調査、要望等の聞き取りにより、町全体での設置計画が必要ではないか)。		現在、子育て支援センターの整備構想が進められているが、同センターの中に自習室を設けたいと考えている。
総括(下半期も含む)	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		
	第4四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 企画課との連携及び町全体での設置計画の必要性等を総合的に判断されたい(企画課シートから：現状での子どもたちの自習室としての利用状況(図書室、あぐり館等)の調査、要望等の聞き取りにより、町全体での設置計画が必要ではないか)。		企画課と連携し、図書室やあぐり館また、駅舎で学習している生徒の声を聞きながら、検討していく。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	前年度増	現状値	62.9%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12%	現状値	12.0%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			③12か月相談時思春期教室の打ち合わせ、益子芳星高校と連絡調整。	
	5月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。		③12か月健康相談時に益子芳星高校生の『赤ちゃんとの触れ合い体験』の受け入れを実施（20名）。妊娠、出産、子育てについてや、身体と心の変化についての正しい知識の普及啓発を実施（5/13） ⑤情報収集	
	6月			③12か月健康相談（6/21） 田野小（生き生き講座）思春期教室（6/22） ⑤情報収集	
	7月			③12か月健康相談（7/14） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に当たり打ち合わせ（7/28）	
	8月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。		③12か月健康相談（8/18） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に当たり打ち合わせ（8/30）	
	9月			③12か月健康相談（9/15） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に向けて情報収集	
	10月			③12か月健康相談（10/27） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に向けて情報収集	
	11月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。		③12か月健康相談（11/15） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に向けて情報収集	
	12月			③12か月健康相談（12/9） ③益子特別支援学校（未来学：ライフプラン等） ③町内中学校の思春期教室開催に向け、会議日程の調整 ⑤体操考案に向けて情報収集	
	1月			③12か月健康相談（1/20） ③思春期教室実施に向け、各中学校養護教諭との調整 ③益子中学校思春期教室（1/24） ⑤体操考案に向けて情報収集	
	2月	③いきいき講座や思春期教室等開催する。 ⑤町民に親しみやすい体操の考案するため、情報を収集、作成に向けて準備する。		③12か月健康相談（2/14） ③七井中学校思春期教室（2/10） ③田野中学校思春期教室（2/24） ③益子西小思春期教室（2/2） ③田野小学校 薬別・たばこ健康教育（2/16） ⑤体操考案に向けて情報収集	
	3月			③12か月健康相談（3/9） ⑤体操考案に向けて情報収集	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。 ⑤町民に親しみやすい体操については、情報を収集中。具体的にどのように進めていくか考えていく必要がある。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤関係各課と連携し、体操考案に向けて話し合う。
第2四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。 ⑤町民に親しみやすい体操については、情報を収集中。具体的にどのように進めていくか考えていく必要がある。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤関係各課と連携し、体操考案に向けて話し合う。
第3四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。関係係りと体操考案に向けて打ち合わせを実施。 ⑤町民に親しみやすい体操については、情報を収集中。具体的にどのように進めていくか考えていく必要がある。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤関係各課と連携し、体操考案に向けて話し合う。
第4四半期	③いきいき講座や思春期教室等教室の開催等により健康づくりを推進している。 ⑤町民に親しみやすい体操については、情報を収集中。具体的にどのように進めていくか考えていく必要がある。	③児童・生徒の健康づくりを推進、教室の開催や教材の貸し出しを継続する。 ⑤関係各課と連携し、体操考案に向けて話し合う。次年度は、体操の曲について検討、曲づくりを進めていく。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 マシコット体操は完成が楽しみであるが、運用の仕方については、学校行事等のラジオ体操との「棲み分け」が必要と考える。		マシコット体操考案に向けて、関係各課と連携し、先進地の情報を収集しながら取り組みを進めていく。
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 マシコット体操について、対象、内容等等はこれからとのことだが、中高年向けへの配慮なども検討願いたい。		マシコット体操考案に向けて、関係各課と連携し、先進地の情報を収集しながら取り組みを進めていく。子どもから高齢者まで身体を動かすことができるよう考えていきたい。

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人材の育成	
施策	たくましく生きるための人材の育成		進捗状況	100%	
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	前年度増	現状値	62.9%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12%	現状値	12.0%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			未実施	
	5月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	6月			小泉農村公園点検（異常なし）	
	7月			東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検（遊具、ベンチ・テーブル、フェンス一部破損）	
	8月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	9月			未実施	
	10月			農村公園補修箇所の修繕工事	
	11月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	12月			未実施	
	1月			未実施	
	2月	⑥農村公園の点検の実施。		未実施	
	3月			東田井、長堤、小泉、荒町、本郷、原農村公園点検	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	農村公園については、施設の老化が進み安全性の確保が難しくなっているため、遊具等の撤去を考えていく必要がある。	農村公園の今後については、有用性等も考慮し検討して行く必要がある。
第2四半期	農村公園については、施設の老化が進み安全性の確保が難しくなっているため、遊具等の撤去を考えていく必要がある。また、点検の結果ベンチ等の修繕が必要な公園があったため、予算要求を行った。	農村公園の今後については、有用性等も考慮し検討して行く必要がある。
第3四半期	農村公園の補修箇所の修繕工事を行った。施設の老化が進み安全性の確保が難しくなっているため、遊具等の撤去を考えていく必要がある。	農村公園の今後については、有用性等も考慮し検討して行く必要がある。
第4四半期	農村公園の補修箇所の修繕工事を行ったが、今後は安全性についても十分に確認する必要がある。	農村公園の今後については、有用性等も考慮し検討して行く必要がある。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		引き続き農村公園の点検を行う。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 ②意見・提言 少子高齢化の時代、農村公園のあり方も変わるときかもしれない。		農村公園のあり方を検討し、引き続き農村公園の点検を行う。
	総括（第4四半期も含む）			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	前年度増	現状値	62.9%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12%	現状値	12.0%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①JFAこころのプロジェクト夢教室（田野小・益子小）を実施する。 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施し、各中学校の運動部に外部指導者を派遣し、保険加入処理をする。 ③児童生徒の体力向上プログラム作成委員会を開催する。 ④新規中学校運動部活動外部指導者に対しては外部指導者調書の提出依頼。		①H28.4.4 各中学校に、外部指導者の推薦を依頼。 ②H28.4.26 各小中学校に、体力向上プログラム作成委員の推薦を依頼。 ③H28.4.28 各中学校からの外部指導者の申請書受理。	
	5月			①H28.5.16JFAこころのプロジェクト夢教室実施（田野小） ②H28.5.19 外部指導者の決定。各中学校へ派遣。 ③H28.5.24 外部指導者のスポーツ保険加入処理。 ④H28.5.31 第1回体力向上プログラム作成委員会を開催。	
	6月			①H28.6.30JFAこころのプロジェクト夢教室実施（益子小） ②H28.6.24 新規外部指導者からの外部指導者調書を受領。 ③H28.6.2 体力向上プログラムの基礎データ入力用資料の作成依頼。	
	7月	①JFAこころのプロジェクト夢教室（益子西小）を実施する。 ③児童生徒の体力向上プログラム作成委員会を開催する。 ④児童生徒の運動能力向上のため運動用具を整備 ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校運動部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理 ①中学校運動部活動外部指導者へのスポーツ指導者育成教室開催案内		①H28.7.1JFAこころのプロジェクト夢教室実施（益子西小） ③H28.7.20 第2回体力向上プログラム作成委員会の開催通知送付。 ①H28.7.4 中学校運動部活動外部指導者派遣事業現状調査 ①H28.7.4 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼。	
	8月			①H28.8.12 中学校の運動部活動における外部指導者に関する調査報告（早稲田大学スポーツ科学学術院） ①H28.8.12 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書受理。 ③H28.8.1 第2回体力向上プログラム作成委員会を開催。 ③H28.8.15 第3回体力向上プログラム作成委員会の開催通知送付。 ③H28.8.24 第3回体力向上プログラム作成委員会を開催。	
	9月			③H28.9.23 第4回体力向上プログラム作成委員会の開催通知送付。 ①H28.9.27 中学校運動部活動外部指導者（第1期分）謝金支払い処理	
	10月			①H28.10.11 各中学校（中学校運動部活動外部指導者）へ事故防止等啓発通知送付 ③H28.10.7 第4回体力向上プログラム作成委員会を開催。	
	11月	①JFAこころのプロジェクト夢教室（七井小）を実施する。 ③児童生徒の体力向上プログラム作成委員会を開催する。 ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校運動部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理		①H28.11.1 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼。 ①H28.11.7JFAこころのプロジェクト夢教室実施（七井小） ①H28.11.15 各中学校（中学校運動部活動外部指導者）へ【けがをさせない柔道指導法通知】送付 ③H28.11.18 第5回体力向上プログラム作成委員会の開催通知送付。	
	12月			①H28.12.27中学校運動部活動外部指導者（第2期分）謝金支払い処理 ③H28.12.8 第5回体力向上プログラム作成委員会を開催。	
	1月			③各学校で作成した体力向上プログラムのデータを教委で取りまとめ。	
	2月	①JFAこころのプロジェクト夢教室実績報告書提出依頼、支払い処理。 ①中学校運動部活動外部指導者源泉徴収票作成処理 ③児童生徒の体力向上プログラムの完成。各小中学校に配布。 ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①中学校運動部活動外部指導者（第3期分）謝金支払い処理		③H29.2.1 第6回体力向上プログラム作成委員会を開催。	
	3月			①H29.3.2 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼。 ①H29.3.22 中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書受理。 ③H29.3.27 体力向上プログラム印刷完成	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合の目標値に対する現状値については、結果が第2四半期となるため未記入。 ①21運動部中、現在13運動部にて、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施。(新規中学校運動部活動外部指導者3名) 21運動部中、現在8運動部にて、中学校運動部活動外部指導者不在という状況となっている結果であることから、【中学校運動部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの運動技術向上を支援する上で支障はないのか】という課題が確認できる。 ①JFAこころのプロジェクト夢教室田野小・益子小児童は病欠を除き、運動や講演に全員が参加し、積極的に活動している様子が観察から見取ることができた。また、活動中後に児童が記述した将来の内容については39人中38人が具体的な記述があり、事業の有効性が確認できた。益子小は7月以降、検証する予定。 ③第1回体力向上プログラム作成委員会を行った結果、プログラムを作成する上で、まずは各学校の現状(体力テストの結果、各校の取組)と課題の把握が必要であると分かった。	②【中学校運動部活動外部指導者不在でも、今後の子どもの運動技術向上を支援する上で支障はないのか】という課題を解決するため、各中学校へ中学校運動部活動外部指導者の今後の配置希望有無調査を実施。 顧問の指導により支障なしという調査結果を踏まえ、外部指導者活用の改善点や問題点を把握する必要がある。 ③次回の体力向上プログラム作成委員会時では各学校の現状と課題を共通理解し、今後のプログラム作成の方向性を検討する。
第2四半期	③H28年度の新体力テストが実施され、小・中学生のA級以上取得者割合の現状値は12.0%であった。現在作成中の体力向上プログラムが次年度より本格的に実施されることになれば、この割合の増加が期待できると考える。また、8月に、第2回と第3回目のプログラム作成委員会を開催。各学校の現状を分析し、課題となる体力要素(筋力、柔軟性、敏しょう性、持久力、瞬発力、投力)の向上に繋がるような取組や体育の授業や遊びの中で取り入れられるような運動をプログラムに盛り込んでいく。	③次回の体力向上プログラム作成委員会では、プログラムでどのような運動を紹介するのか等、内容の検討をしていく。
第3四半期	③第4回と第5回目の体力向上プログラム作成委員会を開催。具体的に、プログラムに取り入れる運動の取組が決まり、使用する写真や紹介文等の検討を進めた。	③各委員が作成したプログラム内容のデータを町教委がとりまとめ、プログラムを完成させる。3月に印刷配布予定。
第4四半期	③第6回目の体力向上プログラム作成委員会を開催。各学校で作成したデータを教委で取りまとめ、体力向上プログラムの冊子を150部(学校配布分+教委分)印刷完了することができた。	③次年度の4月の校長会において、完成した体力向上プログラムを学校長に紹介し、学校の授業等で活用してもらうよう推奨する。また、各学校へ必要部数を配布する。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		③体力向上プログラムについては、今年度中に完成させ、3月に印刷配布予定である。配布数としては小学校においては、各学校で学級数+学校長分、中学校においては、体育教員数+部活動数分を印刷して配布することが決定した。 ①中学校の部活動指導者派遣事業については、現行のまま継続し、今年度次年度も現状調査を行い現場の状況把握をする予定である。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 中学校の部活動指導者派遣事業については、中学校の先生方の意見を具体的に聞いて、派遣された指導者が学校の意向に沿った指導ができるようにするとよい。 体力向上プログラムについて、体育での柔軟やスポーツテストによる指導など、写真付きでわかりやすいものだと感じた。学校での早期導入を望む。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		体力向上プログラムを完成させ、3月末に印刷配布した。次年度は小中学校それぞれ、プログラムを活用した研究授業及び授業研究会を実施し、検証する予定である。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 体力向上プログラムを有効に活用されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	10%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	前年度増	現状値	62.9%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	12%	現状値	12.0%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う		④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討。(4/12)	
	5月			①益子町体育協会総会において指導者育成教室の説明会(5/11)④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討。(5/10)④チャレンジクラブ事業部会を開催し運営の検討(5/17)④チャレンジクラブ総務部会を開催し運営の検討(5/24)	
	6月			①一流選手の試合を観戦させるために栃木SC 町民デーを開催するための準備②スポーツ少年団総会において指導者育成教室の説明会(6/18)④ましこチャレンジクラブ総務部会を開催し運営の検討(6/7)④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討(6/14)④チャレンジクラブ事業部会を開催し運営の検討(6/21)	
	7月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催に向けての準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成教室の開催 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う		①一流選手の試合を観戦させるために栃木SC 町民デーを開催④ましこチャレンジクラブ総務部会を開催し運営の検討(7/5)④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討(7/12)④チャレンジクラブ事業部会を開催し運営の検討(7/26)⑤町民に親しまれる体操を考案するための保健センターとの打合せ(7/27)	
	8月			①少年スポーツ教室の講師等の検討④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討(8/9)④チャレンジクラブ事業部会を開催し運営の検討(8/23)⑤町民に親しまれる体操を考案するための保健センターとの打合せ(8/30)	
	9月			①少年スポーツ教室の講師等の検討④ましこチャレンジクラブ総務部会を開催し運営の検討(9/6)④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてプログラムや広報活動の検討(9/13)④チャレンジクラブ事業部会を開催し運営の検討(9/28)⑤町民に親しまれる体操を考案するための準備スポーツ推進委員等からの意見をもらう	
	10月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成教室の開催 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集、検討を行う		①少年スポーツ教室の講師等の検討④ましこチャレンジクラブ運営委員会においてクラブのPRのため、スポーツ交流会開催内容検討(10/11)	
	11月			①②少年スポーツ教室（野球教室）の開催（11/5、参加者112名）④チャレンジクラブ運営委員会において年会費の値上げとプログラムの見直し検討、12/3開催のスポーツ交流会の内容検討(11/18)	
	12月			①②少年スポーツ教室（剣道教室）の開催（12/3、参加者30名）③（サッカー教室）の開催（12/23、参加者131名）、指導者育成教室（剣道）の開催（12/3、参加者7名）④ましこチャレンジクラブ スポーツ交流会の開催（12/3、参加者220名）運営委員会において次年度プログラムの検討(12/13)	
	1月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成教室の開催 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集、検討を行う		①少年スポーツ教室の講師等の検討	
	2月			①②少年スポーツ教室（バドミントン教室）の開催（2/18、参加者55名）③（卓球教室）の開催（2/25、26、参加者77名）③（柔道教室）の開催（2/26、参加者48名）／指導者育成教室（野球教室）の開催（2/4、参加者40名）③（卓球教室）の開催（2/18、参加者8名）④ましこチャレンジクラブ運営委員会において、H29度の参加費等について協議（2/14）	
	3月			①②少年スポーツ教室（ソフトテニス教室）の開催（3/4、参加者109名）③（バレーボール教室）の開催（3/12、参加者77名）／指導者育成教室（陸上教室）の開催（3/4、参加者10名）③（バドミントン教室）の開催（3/4、参加者12名）③（サッカー教室）の開催（3/5、参加者15名）④ましこチャレンジクラブ運営委員会、次年度事業について協議(3/14)	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①子どもたちのスポーツ教室は、一流選手のシーズンオフに開催するため、11月頃から開始する。どのような指導者を呼ぶべきか検討し、交渉に入っていく。 ①②指導者育成教室に関しては、体育協会、スポーツ少年団指導者に説明を行い、各種目ごとに検討をお願いしており、今後各教室が開催されると考える。7月の町民デーの開催については6月末で参加者311人(うち子ども157人)となっており関心が高くなっている。 ④今年度は月に1度の運営委員会に加え、総務事業部会も月に1度行い、事業の検討を密に行っている。参加者増に向けた広報活動、プログラムの見直しを行い、昨年同期(H27.6月末の加入者が518人)と比較して今年度は565人となっており、参加人数は増えてきている。しかし総合型スポーツクラブというものがまだ認知度が低いと思われるため、さらなる広報活動が必要と考える。 ⑤についてはこれから情報を収集し、どのようなものが良いか考えていく。	①スポーツ教室については、トップアスリートを呼べるようにしては、上位の指導者を要請する、ノウハウを持った種目とそうでない種目があると考えられることから、こちらから提案をしていくことが必要と思われる。 ④まずは総合型スポーツクラブを知ってもらうためのPRの方法を模索していく。また、年齢による参加者の偏りがあるため、青年層のプログラム等の充実を図り、広報していきたい。 ⑤まずは、近隣市町、茂木町のゆずも体操の経過を知り参考にしていく。
第2四半期	①子どもたちのスポーツ教室は、一流選手のシーズンオフに開催するため、11月頃から開始する。野球、剣道は決まっているが、その他の種目については、メダリストの指導を受けられるように交渉していく。①②指導者育成教室に関しては、体育協会、スポーツ少年団指導者に説明を行い、各種目ごとに検討をお願いしており、今後各教室が開催されると考える。④今年度は月に1度の運営委員会に加え、総務事業部会も月に1度行い、事業の検討を密に行っている。参加者増に向けた広報活動、プログラムの見直しを行い、昨年同期(H27.9月末の加入者が552人)と比較して今年度は590人となっており、参加人数は増えてきている。今後もPR活動を進め、認知度を上げていく。また、様々な年代に対応できるようなプログラムを考えていく必要がある。 ⑤についてはこれから情報を収集し、スポーツ推進委員や、健康体操の指導者などから意見をいただきながら検討していく。	①スポーツ教室については、一流のアスリートを呼べるように交渉を行っていく。①②指導者育成教室については、研修内容の検討を進めている種目とまだ決まらない種目があり、こちらから働きかけが必要である。 ④まずは総合型スポーツクラブを知ってもらうためのPRの方法を模索していく。フェイスブック等まだ活用していない情報発信なども検討する。 ⑤どのような動きの体操が必要か、スポーツ推進委員や、健康体操の指導者などからアドバイスをいただく。
第3四半期	①②少年スポーツ教室では、3種目(野球・剣道・サッカー)が開催され、参加者のアンケートでは高い満足度となっている。指導者育成教室では、スポーツ少年団指導者・中学校部活動指導者に参加いただき指導のスキルが上がったと感じられる。 ④チャレンジクラブにおいては、全町民を対象にスポーツ交流会を開催し、会員の勧誘を行うと共に、会員相互の親睦を図られた。会員数も昨年同期(H27.12月末の会員数581人)と比較して今年度は630人となっており増加してきている。又、5年後の自立に向けての年会費の見直しを行い値上げすることとした。	①②少年スポーツ教室では、予定の残り5種目について、講師と参加者の連絡調整を行い、より効果のある教室となるよう努めていく。指導者育成教室については、より効果のある教室が開催出来るよう、講師の選定と開催日時の調整について働きかけていく。 ④チャレンジクラブの年会費の値上げについては、現会員の理解を得られるよう広報、PRを行っていく。参加者の少ない青年層へのプログラムの充実を図っていく。
第4四半期	①②少年スポーツ教室では、5種目(バドミントン、卓球、柔道、ソフトテニス、バレーボール)が開催され、参加者アンケートでは高い満足度となっている。 指導者育成教室では、4種目(野球、卓球、陸上、バドミントン)を開催し、スポーツ少年団指導者・中学校部活動指導者に参加していただき、子供達への競技技術やメンタル的な指導のスキルアップに寄与したと思った。 ④チャレンジクラブにおいては、平成29年度から事務局員の勤務体制が変更(時間短縮)になるため、クラブ運営や参加者サービスに支障がでないように調整する必要がある。また、年会費の見直しについては、値上げをして次期会員の募集をする。	①②少年スポーツ教室では、より効果が上がる講師の選定、そしてメダリスト等のトップアスリートを招くことができるよう調整をする。指導者育成教室については、少年スポーツ教室と重複するような教室は控え、指導者や保護者への動機付けとなるような講演会を開催する。また、各競技、中央での指導者研修等へ参加を促し、参加者への補助を実施する。 ④一般向けのプログラムが少ないので、その参加者を増やすためのプログラムを検討する。また、事務局の勤務体制(時間減)のため、その不足分により、クラブ運営やサービスに支障がないように調整を図っていく。 ⑤ゆずも体操やスポーツ推進委員等のアドバイスを参考に、平成29年度は体操の楽曲を作製し、平成30年度は曲に合わせた体操を考案していく。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		②中学校部活動外部指導者派遣事業については、指導者を発掘することが中心となるが、中学校部活動と町体育協会専門部、スポーツ少年団指導者との連携をすることにより充実を図る必要がある。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 幅広い種目のスポーツ教室の企画を検討されたい。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		東京オリンピック出場選手を出すために、トップアスリートを町自体が作り上げていく事業として、現在実施している教室の他に、何ができるのか、また、どのような支援が出来るのか検討する必要がある。 定期的なスポーツ活動を習慣づかせるために、きっかけ作りとして、何があるのか、何ができるのかを検討する必要がある。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	観光商工課			
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	人財が育つ環境づくり		進捗状況	100%		
KPI	町民学士認定者数		本年度目標値	152人	現状値	129人
KPI	ましこ検定の合格者数		本年度目標値	前年度増	現状値	39人
KPI	遊びの達人の登録者数		本年度目標値	前年度増	現状値	2人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月					
	5月	②ましこ検定を実施に向けた内部打合せの実施。		②5/11生涯学習課と担当者打合せ。		
	6月					
	7月					
	8月	②ましこ検定を実施に向けた組織化を図り、第1回実行委員会を開催する。		②8/17生涯学習課、企画課と担当者打合せ。		
	9月					
	10月			②生涯学習課、企画課と担当者打合せ。10/25。		
	11月	②ましこ検定第2回実行委員会の開催。		②生涯学習課、企画課と担当者打合せ。11/22。 第1回実行委員会開催。11/24。		
	12月			②第2回実行委員会開催。12/20。		
	1月					
	2月	②ましこ検定の実施と次年度に向けての検討。				
	3月			②ましこ検定の実施（3/4：43名受験）、結果通知の発送（3/23）。		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	②ましこ検定実行委員会の設立に向け環境整備の協力。	②仮) ましこ検定実行委員会の設立に向け検討。
第2 四半期	②仮) ましこ検定実行委員会の要綱制定に向け内容検討。	②仮) ましこ検定実行委員会の要綱制定。実行委員会の開催。
第3 四半期	②ましこ検定の実施に向け、実行委員会で開催要項等の検討。実行委員会の開催。	②応募多数となるよう広報活動に努める。
第4 四半期	②ましこ検定の実施に向け、実行委員会で開催要項等の検討。実行委員会の開催。受験者が予想より少なかったので、気軽に受験できるようPR等への協力。	②ましこ検定の実施に向け、実行委員会で開催要項等の検討。実行委員会の開催。受験者が予想より少なかったので、気軽に受験できるようPR等への協力。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		②関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	第2四半期			
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。		②関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）			

新ましこ未来計画推進シート シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	人材が育つ環境づくり	進捗状況	33%		
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	152人	現状値	129人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	前年度増	現状値	39人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	前年度増	現状値	2人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①ましこ町民大学開設検討委員会の開催 ②ましこ検定の実施に向けて内部打合せをし、組織化を図る ③遊びの達人講座開催スケジュール作成		①開設までの年間スケジュールを作成 前回の町民大学の経緯や学習内容等を確認 検討委員の選定を検討 益子町生涯学習推進協議会長と打ち合わせを実施 ②③未実施	
	5月			②内部打合せを実施（組織構成、要綱案について検討）	
	6月			①6／28の生涯学習推進協議会にて、「ましこ町民大学設置検討委員会」の設立を決定。メンバーについては生涯学習推進協議会のメンバーから6名選出。開設目的や期間、定員、今後のスケジュールなどを決定した。ましこ町民大学開設検討委員会にて出された結果を益子町生涯学習推進協議会へ報告し、承認を受ける形とする ②実行委員の打診（6/9益子焼関係、6/14学校長関係、6/15商工会、農業関係）、既存の本を教材とする場合の著作権等の所在確認と許可について調査(6/30) ③年間の講座開催スケジュールを決定した。	
	7月	①ましこ町民大学開設検討委員会の開催 ②ましこ検定の組織化を図り、第1回実行委員会を開催する。 ③講師募集と内容の決定、参加者（子ども）の募集		①ましこ町民大学 大学の形態・今年度スケジュール・カリキュラムテーマ等案の作成 ②ましこ検定内部打合せ開催のための日程調整（8/17実施予定）	
	8月			①第1回ましこ町民大学開設検討委員会の開催（8／4） ②実行委員の打診（8/5農業関係・8/30女性団体関係）・内部打合せの実施（8/17）・町長との打合せ実施（8/30）	
	9月			①第2・3回ましこ町民大学開設検討委員会の開催（9/1,9/29） ②内部打合せを実施（9/7）・町長との（9/13）・内部打合せ（9/21）・実行委員の説明（9/28）	
	10月	①ましこ町民大学開設検討委員会の開催 ②ましこ検定の組織化を図り、第2回実行委員会を開催する。 ③遊びの達人講座の開催		②内部打合せを実施（10/25）・第1回実行委員会開催日の検討 ③講座の開催（10/1）	
	11月			①第4・5回ましこ町民大学開設検討委員会開催（11/2,11/29） ②内部打ち合わせを実施（11/22）・第1回実行委員会開催（11/24）・ましこ検定実施日の決定（3/4）	
	12月			①募集要綱（案）・カリキュラムの策定 ②教育委員会にて教育委員会所管の本の複製について審議・承認をいただいた。・2回実行委員会開催（12/20）	
	1月	①ましこ町民大学開設検討委員会の開催 カリキュラムの策定 ②ましこ検定の実施と次年度に向けた企画運営 ③遊びの達人設置要綱の策定と次年度事業へ向けた検討		②ましこ検定チラシ兼申込書を自治会回覧で全戸に配布（1/31） ・HPに掲載（1/31） ③遊びの達人事業実施要綱を策定	
	2月			②Facebookに掲載（2/2）・ましこ検定の案内を真岡新聞に掲載（2/3）・下野新聞に掲載（2/5）・受付開始（2/8）	
	3月			①開設検討委員会の開催 3/16 ②ましこ検定の実施（3/4：43名受験）、結果通知の発送（3/23） ③遊びの達人登録者2名 広報ましこに募集記事を掲載（5月号予定）	

	③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①町民大学準備に関する今後の課題 ・学生対象者の範囲 ・若い学生の取り込み ・定員確保のための方策 ・カリキュラムの方向性や具体的内容 ②検定のための教材を何にするかを決める必要がある。既存の副読本等を使用する場合は著作権等についてクリアにする必要がある。また、既存の物でも新たに印刷する場合は予算の問題が発生する。 ③教室開催は第2四半期から実施。	①前回(H10～13)の町民大学の内容を検討委員へ伝え、反省点なども把握してもらい、目的に沿った学習プログラムを策定する。 ②委員については報告がない関連者への打診。教材については何にするか検討し、必要な許可を取る。全体的な試算のため必要な情報を集める。
第2四半期	①ましこ町民大学 若い人の入学が大事。若い人が参加しやすいカリキュラムにした方がよい。1単位当たりの時間が長いと、途中で投げ出す人が出てくるのではないかな。自治会で活躍出来るような仕組みづくりも考える。学生の募集について、PTAや育成会の役員等をどのように巻き込むかが課題である。 カリキュラムの大分類として以下の3つに整理 1. まちづくり基礎 2. まちづくり知識 3. まちづくり実践 ②ましこ検定の問題の難易度がわからないので、今後観光ボランティアや実行委員の方に試してもらいながら、合格ラインを検討したい。	①年間の単位数を22とし、各単位毎に授業内容(案)を作成。9/29の委員会で内容を検討。 ②実行委員会を第2四半期で開催予定だったが、遅れてしまっているのので、第3四半期の早い時期に開催をしていきたい。
第3四半期	①カリキュラムの具体的内容と募集要項案を作成した。募集形態としては一般と自治会推薦枠の2つを設けた。定員は40名であるが、如何に多くの町民に参加してもらうかが課題である。 ②応募者全員にプレゼントするクリアファイルや、合格証・缶バッジ等のデザインを決定させ、ましこ検定がスムーズに実施できるよう努めていく。	①募集に関し、有効的な周知の方法を考える。 ②ましこ検定にたくさんの方が応募してくれるよう、広報活動に努めるとともに、スムーズな開催ができるよう、準備品等の手配・ボランティア等の依頼についても、遅滞なく進める。
第4四半期	①講師の変更、現地実習の日程修正 ②ましこ検定受験者が予想より少なかったのので、気軽に受験いただけるようPR等に努める。	①講師の変更：第20～22回の講師 とちぎ協働デザインリーグの2名から廣瀬隆人先生へ変更 ②ましこ検定受験者が予想より少なかったのので、気軽に受験いただけるようPR等に努める。

		⑤外部検証委員からの意見・提言	⑥議会からの意見・提言	⑦外部検証委員・議会からの意見・提言を受けての次期(次年度)以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		①ましこ町民大学開設検討委員会の中で特典について検討したが、適当なものが無かったこと、また、町民学士の目的が特典目的ではないことから、この提言については委員会の中で却下された。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 町民学士、ましこ検定の認定者、合格者については、何らかの特典や付加価値をつけると受講者のアップにつながるのではないか。		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し、廃止・終了・・・なし		②ましこ検定を多数の方に受験いただけるように新聞での広報をはじめ、町内の各団体にも周知を図っていく。また、小中学校の副読本からの出題も多いことから、子どもでも気軽に受けられることを周知していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。 ましこ検定の受験等について、商工会のほか町内各団体等への周知をさらに強化されたい。		